

英語科学習指導案

令和元年11月11日(月)第5校時(13:55~14:45)

〇〇中学校 1年〇組 (少人数教室②)

指導者 T1: T2: ALT:

I 題材名 Unit 8「イギリスの本」(New Horizon Course 1)

II 学習指導要領上の位置付け

[知識及び技能]

エ 文, 文構造及び文法事項

(ア) 文

b 疑問文のうち, 助動詞 (may, will など) で始まるものや or を含む物, 疑問詞 (which, whose) で始まるもの

(イ) 文法事項

a 代名詞 (a) 人称や指示, 疑問, 数量を表すもの

[思考力, 判断力, 表現力等]

ウ 日常的な話題や社会的な話題について, 伝える内容を整理し, 英語で話し合ったりして互いに事実や自分の考え, 気持ちを伝え合うこと。

[言語活動に関する事項]

カ 書くこと

(ウ) 日常的な話題について, 簡単な語句や文を用いて, 出来事などを説明するまとまりのある文章を書く活動。

III 目標

ア (知識・技能)

・疑問詞 **where** と **whose** の意味や用法に関する知識を理解し, それらを用いて人やものの所在や持ち主についてたずねたり答えたりする技能を身に付けるようにする。

・人称を表す代名詞 **I**, **you**, **he**, **she** などの目的格の意味や用法に関する知識を理解し, 物語の主人公などについてやりとりをしたり, おすすめの本の紹介文を書いたりする中で, それらを活用する技能を身に付けるようにする。

イ (思考力・判断力・表現力等)

日本語の本を探している ALT ために, おすすめの本を紹介する文を書く活動の中で, 伝える内容を整理し, つながりのある英文を書くことができるようにする。

ウ (学びに向かう力, 人間性等)

日本語の本を探している ALT のために, おすすめの本を紹介する文を書く活動の中で, 読み手を意識して, より正確な英文を書こうとしたり, 内容面を充実させようと工夫したりしている。

IV 指導計画 ※別紙参照

V 本時の展開 (3 / 10)

- 1 **ねらい** おすすめ本や昔話などについて、簡単なあらすじをペアで伝えあう活動を通して、「おすすめの本を紹介する」という本題材の課題について知り、見通しをもって取り組めるようにする。

2 展開

学習活動 (分)	○ : 留意点	点線囲 : 評価	☆ : 振り返りの子供の意識
1 あいさつ・帯活動を行う。(15分) ○教師を中心とした会話から、 Small Talk の話題を提供する。 ○教師同士のデモンストレーションを行い、既習表現の提示や会話の継続への意識付けを行う。 ○ペアを替えて、やりとりさせる。 ○参考となるやりとりや英語で言えなかった表現を全体で共有する。			
2 本時のめあてをつかむ。(10分) ○教科書の挿絵や前時までの学習内容から、状況や場面等について教師と生徒でやりとりしながら、本時の学習内容をつかませる。 ○ALT から依頼したいことがある、という旨を伝える。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;">めあて おすすめの本や昔話のあらすじを伝え合おう。</div>			
3 おすすめの本や昔話のあらすじをペアで伝え合う。(15分) ○教師がデモンストレーションを行い、学習活動のイメージをつかませる。 ○どの本について述べるか選べない生徒には、黒板に例をいくつか掲示する。 ○個別で考える時間を取ってからペアで伝え合う。 ○やりとりを観察し、参考になる表現や語彙を全体に紹介する。 ○ペアを替えて活動を行うことで、色々な表現に触れられるようにする。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 10px;">評価 既習事項を使って、本のあらすじを伝えようとしている。<観察(1)></div>			
4 活動の振り返りをする。(5分) ○相手に伝えられたことや英語で言いたかった表現をワークシートに書かせる。 ○あらすじを伝えるために必要な表現や相手に喜んでもらえる紹介文を書くために何が必要かを何人かで意見交換する場面を設定する。 ○数名の生徒を指名し、意見を全体で共有する。			
5 本時のまとめ・振り返りをする。(5分) ○単元の課題「日本語の本を探している ALT のために、おすすめの本を紹介する文を書こう」の解決に向け、今後の学習活動に取り組んでいくことを伝える。 ☆あらすじを伝えるのは難しいと思った。 ☆3単現の-s の使い方がよくわからない。 ☆おすすめの本を紹介するのは楽しそうだ。どの本をすすめたら喜んでもらえるかな。			

V 本時の展開 (4 / 10)

1 ねらい お気に入りの本や映画の登場人物について会話や本文の学習を通して、代名詞の意味や用法を理解させる。

2 展開

学習活動 (分) ○ : 留意点 点線囲 : 評価 ☆ : 振り返りの子供の意識

1 あいさつ・帯活動を行う。(15分)

- 教師を中心とした会話から、Small Talk の話題を提供する。
- 教師同士のデモンストレーションを行い、既習表現の提示や会話の継続への意識付けを行う。
- ペアを替えて、やりとりさせる。
- 参考となるやりとりや英語で言えなかった表現を全体で共有する。

2 本時のめあてをつかむ。(5分)

- 教科書(8-3)を読んで、どのような会話をしているかを推測させる。

めあて 好きな本や映画の登場人物について話すときに便利な表現を知ろう。

3 教科書の本文を読んで、必要な情報を把握する。(25分)

- 本文の内容や、本文中の代名詞がそれぞれ誰のことを指しているか確認させる。
- 代名詞の用法・意味について説明する。
- 代名詞の表を提示して、声に出して練習させる。
- 教科書の本文を自然な速さで読めるように練習させる。
- 教科書の本文のキーワードを挙げさせ、板書する。
- キーワードを見ながら、本文の内容についてペアでやりとりを再生させる。
- 数ペアを指名し、発表させる。

評価 代名詞の意味・用法を理解している。

4 本時のまとめ・次時の学習内容の確認をする。(5分)

- 教科書の本文の会話表現を使うと、好きな本や映画の登場人物などについて、英語でやりとりできるようになることを伝える。
- 次時で話題にしたい本や映画を考えておくように伝えるとともに、必要があれば、登場人物についての情報を整理しておいたり、写真などを用意したりすることを伝える。
 - ☆代名詞を使うと会話につながりが出てくることがわかった。
 - ☆表を使って整理しながら、代名詞を覚えよう。
 - ☆キーワードだけで、教科書の内容を再生できた。

V 本時の展開（10／10）

1 ねらい○前時で書いた紹介文を全体でシェアする活動を通して、英文の誤りに気づいて訂正したり、紹介文をより良くするための工夫などを考えたりする力を身につけさせる。

2 展開

学習活動（分）	○：留意点	点線囲：評価	☆：振り返りの子供の意識
1 あいさつ・帯活動を行う。（10分）			
○教師を中心とした会話から、 Small Talk の話題を提供する。			
○教師同士のデモンストレーションを行い、既習表現の提示や会話の継続への意識付けを行う。			
○ペアを替えて、やりとりさせる。			
○参考となるやりとりや英語で言えなかった表現を全体で共有する。			
2 本時のめあてをつかむ。（5分）			
○前時までの学習内容を振り返り、自分の書いた紹介文を多くの人に読んでもらうためにはどのような工夫が必要か、教師と生徒でやりとりしながら、考えさせる。			
めあて おすすめの理由やキャッチコピーなどを加えて、紹介文を完成させよう。			
3 前時で書いた英文から、共通の誤りやお手本となる表現を提示し全体で共有する。（15分）			
○ワークシートで誤りの例をいくつか提示し、グループで話し合いながら、それぞれの英文の誤りを見つけ、訂正させる。誤りのない英文には、どの点が優れているかを考えさせる。			
○板書しながら、全体で確認する。			
○自分が書いた紹介文を読み直し、誤りがあれば訂正させる。			
4 おすすめの理由やキャッチコピーなどを考えて書き加える。（15分）			
○おすすめの理由やキャッチコピーなどを考えて、紹介文の前後に書き加える。			
○机間支援をし、個別にアドバイスをしたり、称賛したりする。			
○数名の生徒を指名し、全体で共有する。			
評価 読み手を意識して、より正確な英文を書こうとしたり、内容面を充実させようと工夫したりしている。			
5 本時のまとめ・振り返りをする。（5分）			
○単元の課題「日本語の本を探している ALT のために、おすすめの本を紹介する文を書こう」が達成できたかを振り返らせる。			
○清書したものは、ALT に読んでもらうだけでなく学校の Web ページに掲載されることを伝える。			
☆見直しをすると間違いが結構あることに気づいた。			
☆最初の時間のペア活動と比べると文量が増え、自信をもって書けるようになった。			
☆わかりやすいように、本の表紙を画像で示したい。			

指導計画 英語科 第1学年 題材名 Unit 8: イギリスの本 (全10時間計画)

目標	日本語の本を探しているALTのために、おすすめの日本語の本を紹介する文を英語で書くことができる。		
評価規準	(1) 日本語の本を探しているALTのために、おすすめの本についてわかりやすく伝えようとする。 (2) 代名詞やつなぎの言葉を使って、おすすめの本についてまとまりのある英文を書くことができる。 (3) 英文の意味を理解して、つながりのある内容に並べかえることができる。 (4) 疑問詞 where と whose 及び代名詞 (目的格) 意味や用法を理解している。		
過程	時間	☆振り返り (意識)	◇評価項目 <方法・観点>
つかむ	○:ねらい 〇:ねらい 〇どこにあるか、だれのものかをたずね合う活動を通して、疑問詞 where と whose の意味や用法を理解させる。 〇どこにあるか、だれのものかをたずね合おう。	☆色々な疑問詞があつて整理が必要だな。今度、何かを探すときに使ってみよう。落とし物の持ち主を探すときも便利な表現だな。	◇ where と whose の意味や用法を理解し、友人とやりとりしている。 <観察(2)>
つかむ	○おすすめの本や昔話などについて、簡単なあらすじをペアで伝え合う活動を通して、「おすすめの本を紹介する」という本題材の課題について知り、見通しをもって取り組めるようにする。 〇おすすめの本や昔話のあらすじを伝え合おう。	☆伝えたい内容を絞らないと伝えきれないな。3単現の復習が必要だ。言葉の繰り返しを避けたり、内容つながりを持たせたりするのに、代名詞が有効なのだ。	◇既習事項を使って、本のあらすじを伝えようとしている。 <観察(1)>
追究	○お気に入りの本や映画の登場人物について、会話を継続・発展させる活動を通して、代名詞の意味や用法を理解させる。 〇好きな本や映画の登場人物について、知っていることを伝え合おう。	☆代名詞を使うと会話につながりが出てくるのがわかった。教科書本文の表現を使うと会話しやすいな。表を使って代名詞を整理しながら覚えよう。	◇教科書本文の会話の流れに基づいて、本や映画の登場人物について、やりとりしている。 <観察(3)・(4)>
追究	○ばらばらになった英文カード4~5枚を、順番を並べ替えてつながりのある内容にする活動を通して、まとまりのある文章を書くための方法を確認する。 〇おすすめの本の紹介文わかりやすく書くための方法を知ろう。	☆内容を短くまとめるには、キーワードを含んだトピックセンテンスが必要なのだ。文頭のつなぎ言葉は文の順番を示せてわかりやすいな。代名詞は繰り返しを避けるのに有効なのだ。	◇カードに書かれた英文の意味を理解し、筋の通った内容になるように、カードを並べ替えることができる。<観察(3)>
追究	○グループで話し合つて、教科書の内容を要約してまとめ、発表する活動を通して、キーワードを整理したり、文と文のつながりを示す語句を効果的に用いたりして書くことができるようにする。 〇これまでのUnitのストーリーを説明しよう。	☆登場人物を絞つてから、キーワードをつなげると説明できることがわかった。つなぎの言葉を効果的に使うことができた。5文以内で説明するのは難しかった。	◇キーワードやつなぎの言葉を使って、教科書の内容を要約することができる。 <ワークシート・観察(3)>
追究	○前時に書いた英文原稿を、別グループと交換して読み合う活動を通して、語句のつづりや語順、用法、符号などの誤りに気づき、正確に書けるよう意識させる。 〇原稿をお互いに確認し合つて、英文に磨きをかけよう。	☆話すことよりも書くことの方が、気をつけなければならないことが多いな。三単現のsや冠詞、代名詞などの間違いに気づけた。正しい英文のほうが、読み手に伝わりやすいな。	◇既習事項に関する知識を使つたり、ノートやワークシートを調べたりして、間違いを訂正することができる。 <ワークシート・観察(3)(4)>
まとめ	○おすすめの本の中の、冒頭部分(イントロダクション)を紹介する活動を通して、まとまりのある文章を書くことができるようにする。 〇ALTの先生のために、おすすめの本の紹介文を書こう。	☆これまで学習してきたことを生かして、一人で書けた。分からない英単語は、辞書で調べて書くことができた。おすすめの本を△△さんにも読んでもらいたい。	◇おすすめの本を紹介する文を書くことができる。 <ワークシート(2)>
まとめ	○前時で書いた紹介文を全体で共有する活動を通して、英文の誤りに気づいて訂正したり、紹介文をより良くするための工夫などを考えたりする力を身につけさせる。 〇おすすめの本の理由やキャッチコピーなどを加えて、紹介文を完成させよう。	☆見直しをすると間違いが結構あることに気づいた。最初の時間のペア活動と比べると文量が増え、自信をもって書けるようになった。わかりやすいように、本の表紙の画像を用意したい。	◇読み手を意識して、より正確な英文を書こうとしたり、内容面を充実させようと工夫したりしている。 <ワークシート(1)>